

【事業者名称】高齢者グループホーム南志賀の里 2階ユニット

平成20年 2月 8日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくりと、一緒に楽しく、生き生きと」を理念としている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の目につくところに理念を明示し、常に理念の実践に向けて取り組めるように心がけている。	○	事業所内の自己研修を通して実践にむけての課題を個々にあげて取り組んでいる。
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には、毎月発行している新聞に理念を記入している。	○	地域の人には理念を明示はできていない。文化祭等の参加を通し理念を明示し理解を得られるように働きかけたい。
理念と共有 3項目中 3項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や外出時に、近隣の方と会ったときには挨拶をする程度で気軽に立ち寄りもらえるような付き合いはできていない。	○	行事などで地域の方も参加してもらえるように工夫をし、少しでも交流を持つ機会を作る。(餅つきや祭り)
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の運動会や地域の夏祭りに参加。神輿の際には休憩場として使用していただく。		文化祭での作品出展と施設紹介。自治会に入会している。契約に
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方に対しての話し合いや取り組みは出来ていない。	○	ボランティアの方と協力し、地域の方に向けた活動をしていく。(認知症についての話し合い等)
地域とのつきあい 3項目中 2項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	会議の場で改善事項を取り上げ、改善できるように話し合い取り組めるように心がけている。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見をユニット会議で報告し話し合いを行っている。		利用者全員が参加できる行事の計画(秋のコスモス祭り、敬老会)
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外での行き来はできていない。	○	運営推進会議以外での行き来する機会をつくる。
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護を活用されている方はいるが、それについて学ぶ機会を持っていない。	○	権利擁護についての勉強会また研修に参加する。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連法についての勉強会はできていない。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 2項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者に任せており、職員は契約時等に関わっていない。		利用者や家族に不安などあれば聞くようには心がけている。契約時に理念に基づいた支援、料金、リスク、医療連携に関して説明し同意を得るようにし
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族に向けての意見箱を設置している。		不安、不満な表情や混乱が見られた時は時間をとり思いを引き出せるように働きかけている。
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の新聞の発行。面会時に最近の様子を報告。また、必要であれば電話にて報告している。	○	預かり金に関しては出納帳につけ管理しているが今後定期的に報告していきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置	○	面会時に積極的に働きかけ意見を引き出しやすい関係を築いていきたい。
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回の全体会議での意見交換		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	無理のない範囲で行っている。		管理者はシフト勤務でないため緊急時対応可能な体制である。通院介助時等必要に応じて調整している。
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	努力はしているが難しい。		短期間での管理者の退職が続いたがユニット職員は固定化されており影響が最小限となるよう努力していきたい。
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症の研修や協議会の研修会に参加するようにしている。	○	常勤者だけでなくパート職員に研修の参加をしていく。適時研修受講の声掛けと職場内研修を行っている。会議後受講者の報告会で学びを共有している。
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会への参加(志賀の里との連携で情報交換を行っている。)	○	他事業所との交流できる機会を作る
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる			
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている			
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時に、可能な限りは本人を交えて家族と一緒にいる。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時に、可能な限りは聴くように心がけている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ショートステイを活用し、お試し期間を設けている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	心がけている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の状況により、必要であればケアの協力を依頼している。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時には、なるべく家族と話すようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	家族の面会時に本人の思いを伝えるよう に心がけている		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	本人に負担のない範囲でのレクリエー ション参加の声掛けや支援		
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	断ち切っているつもりはないが、サービス 終了後も関係を保ててはしない。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 5 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>Ⅲ-1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスの際には、本人の立場で話し合うように心がけている。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や利用者との日々の会話の中で生活歴などの情報収集に努めている		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の経過記録や連絡ノート・申し送りを活用している。		
一人ひとりの把握 3項目中 3 項目					
<b>Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員だけのカンファレンスになっている。	○	介護計画書の見直しの際に、家族や本人の意見を取り入れられるように工夫をする。
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のユニット会議の時間を活用しカンファレンスを行い、必要であれば見直しと変更をしている。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の経過記録や連絡ノート・申し送りを活用している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 2 項目					
<b>Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同じ建物内のデイサービスを活用	○	医療連携体制のもと疾病の早期発見や対応、入退院時の支援を行っているが今後も協働に努めたい。
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア団体の利用。消防による応急救護の研修の実施		
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	出来ていない		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の委員として運営について意見提案を受け協力関係を築いていく。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制の活用		2週間に1回かかりつけ医の受診。
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医療連携体制の活用		必要に応じて専門医の受診ができるよう支援している。今後も対応していきたい。
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制の活用(訪問看護の利用)		1週間に一度の訪問により細かな健康管理に対するアドバイスをうけている。
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院によっては困難である		入退院時は病院関係者とのカンファレンスの要請を行っている。今後も連携強化に努めたい。
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に向けたケアのマニュアル作成とそれによる会議(話し合い)	○	ターミナルケアは日頃からの信頼関係の構築に努め家族や本人の思いに対応していきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	出来る範囲で行うように努力している。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	出来る限りの情報は交換するように心がけている		
地域資源との協働 10項目中 9 項目					




自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	経過記録などの個人情報にあたるものは、出来るだけ他者の目につきやすい場所に放置しないように心がけている。		言葉掛けは、本人に聞こえる距離と本人に合った音量で行うように心がけている。
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の話や意見を、ゆっくりと聴くように心がけている。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせるように、本人の意見を聴くようにしている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容は、家族が希望される場合は家族での対応にて行っている。それ以外の方は職員が散髪している。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭きや、食器の片付けは一緒に行うが、盛り付けは出来ていない。	○	厨房で調理するため献立の決定や日々の調理には参加できていないが好みを聞きながら食事作りの機会を増やしていきたい。
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の体調や食事の量などに支障が出ない範囲で対応している。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	介護計画での実践。必要な方のみ排泄チェック表を使用。		
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の人員や設備に限りがあり、一人ひとりの希望にあわせるのは困難である。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居眠りをされている方には、居室での臥床の声掛けや、本人の身体状況に合わせて昼間に臥床する時間をつくっている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人に合った役割を生活のなかで持っていただけるように心がけている。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族に相談し可能な範囲で行っている。		
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の勤務人数に限界があり出来ていない。	○	ユニット間でも連携をとり外出の機会を作って行きたい。
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と出かけられるような機会は作れていない。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状、暑中見舞い、絵手紙を送付。また、本人の希望があれば家族に電話をしていただいている。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室やホールなど、本人たちの希望される場所で過ごしていただいている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 4 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員が正しく理解をしているかは不明。ベットからの転落防止の理由でのやむ得ない場合のみベット柵を使用。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間は施錠しなように徹底している。夜間のみ施錠している。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	当日の勤務者同士で連携をとり職員同士での声掛けなどで把握できるように心がけている。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必要な場合のみ物品の配置変換や危険防止のための方法を話し合い工夫している。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルの活用。医師や訪問看護師との連携。		事故報告書やヒヤリハットの活用と事例検討におけるリスクマネジメントの実施
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当や心配蘇生術の研修の実施しているが、現在のすべての職員は受講できていない。	○	受講できていない職員対象に実施する。年間計画をたて急変や応急手当の講習を行っていく。
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防による避難訓練の実施とボランティア団体への協力を要請している。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	新たにリスクが出てきたときは、その都度家族に報告・説明を行い相談している。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 7 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	経過記録への記入・申し送り・連絡ノートの活用と訪問看護師への報告。		毎朝のバイタルチェック・入浴時や更衣時などによる身体観察

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	用法や用量については理解できているように思うが、目的や服作用については不明である。	○	入居者が服用している薬についての勉強会の実施。誤薬事故の回避。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分の摂取・オヤツの工夫		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの実施。夕食後の洗浄剤による義歯洗浄の実施		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事時間以外でのお茶やコーヒーなどの提供。食事量の調整や食事形態の対応(おかゆ・刻みなど)		訪問看護師により食事形態、水分摂取に関するアドバイスを受けているが今後も協働に努めたい。
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎清掃時の塩素系漂白剤による手すりやドアノブ、床の消毒。		毎食事前の手洗いの実施。インフルエンザの予防接種の実施。
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日の台所掃除・ふきんやエプロンなどの消毒。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	プランターに季節に合った花を植え、明るい環境作りに努めている。		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	こたつ、雛人形や五月人形を飾り季節感を取り入れるようにしている。		玄関の共有スペースに作品の展示や季節感を取り入れ、暖かい雰囲気を作っていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置。和室での掘りこたつ		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居される際には、家で使っていた家具や食器を持ってきていただけるようお願いしている。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに窓を開け換気をするように心がけている。また、冷暖房によるホールや居室の温度の調整。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やホール内に物を放置したままにしないようにする。また、車椅子が通れるように道幅を確保している。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや各居室に表札を作り、本人に見える位置に貼っている。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑や花壇の活用。野菜や花の収穫。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3 項目					

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
項目		14 取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

# 評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
<b>I 理念に基づく運営</b>		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 地域との支え合い	2 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	2 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2.	<input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	5 項目/6項目
<b>III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	9 項目/10項目
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>		
<b>IV－1. その人らしい暮らしの支援</b>		
－1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	5 項目/6項目
－1. (3)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	4 項目/6項目
－1. (4)	<input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	7 項目/8項目
－1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
<b>IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>		
－2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目



## 総合評価

### I 理念に基づく運営 ( 3 項目/5項目)について

理念はホームに提示し、入居者もご家族も職員も折に触れ目にすることができる。新聞や文化祭でも明示し広く認識していただけるよう努めている。職員間では会議を通して目指すべき方向性の確認と事例を通しての振り返り、個々の具体的な課題をあげての実践など、理念の共有と浸透にむけて努力している。地域との交流は祭りや文化祭、ボランティアや子供の訪問など少しずつ持てはいるが、主体的な取り組みはこれからの課題である。市町村との連携は運営推進会議での助言や意見交換の機会がある。ともに協働できる関係作りが必要であると考え。

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( 2 項目/2項目)について

相談時には本人や家族の不安や希望をゆっくりと聴く時間をつくっている。入居前にはお試し入居の機会を設けている。入居後も毎月のお便りや電話で様子を伝えたり、行事の参加を通して、よりよい関係が築けるように努めている。今後も面会時などにご家族と気軽に話できる関係を作っていきたい。また、入居者同士の関係作りのため、スタッフが間にはいり関わりが持てるように支援している。

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( 1 項目/4項目)について

入居前の生活歴や入居のいたる経過をふまえ個々のペースにあわせてできるだけリロケーションダメージが少ないように支援している。ご家族にも相談時から面会を通してご本人やご家族の思いを時間をかけて知るようにしている。介護計画の立案には本人の言動から思いを推し量り、職員全体で話し合い、プランの説明時にご家族の意向を聞いている。医療連携)体制による身体的なホローやボランティア、消防、警察、地域包括センターや社協、認知症専門医とも連携をとっている。終末期のあり方については家族に説明し、ターミナルケアの同意を得ている。

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( 4 項目/7項目)について

一人ひとりの自尊心に配慮し、ペースを大切にしながらご本人の生活を支えていく大切さを研修やカンファレンスを通して職員間で確認している。職員側の都合が優先されないよう更に意識付けていくことが必要である。食事、排泄、入浴の場面では本人の力を見極め、残存能力の維持に努めている。外出の機会を増やしたり、一人ひとりの楽しみを見つける努力を続けたい。安全面、健康面、環境面においても暮らしの場であることを念頭におき、個々のニーズに合わせて支援していきたい。

### V サービスの成果に関する項目について

職員は本人の思いを大切に個々のペースで過ごしていただくことの重要性を理解しているが、外出やその時々ニーズに合わせた支援が一層必要であると考えている。地域住民とのつながりも徐々に増えつつある。利用者やご家族が満足して下さっていることを実感することで職員の生きがいにもつながっていくのではないかと考えられる。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 高齢者グループホーム南志賀の里

評価年月日: 20年2月8日

前回評価年月日 19年7月10日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
6	4	地域との繋がりを通して 認知症について住民に理 解を広めていく	H.20.2～H21.1	文化祭での認知症に ついての啓蒙活動		
10	6	職員全体が権利擁護につ いての知識を得る	H.20.2～H21.1	職員対象とした学習 会		
11	5	職員全体が虐待について 意識をたかめる	H.20.2～H21.1	職員対象とした学習 会		
61	3	外出の機会を増やす	H.20.2～H21.1	近隣デイ等の施設へ の外出、散歩、買い 物の機会をふやす		
69	1	事故防止のためのマニユ アル整備	H.20.2～H21.1	行方不明時のマニユ アルの再検討		
70	2	職員の応急対応等の訓 練の実施	H.20.2～H21.1	年間計画をたて、講 習を行う		